

第24回「議員と語り合い」報告書

産業建設常任委員会 (No.1)

開催日	平成29年 8月 7日 (月) 13時30分～15時15分		
開催場所	議会棟3・4委員会室		
団体名	霧島商工会議所女性部	参加人員	16人 (男1人:女15人)
出席議員	池田 綱雄、厚地 覺、阿多 己清、木野田 誠、中馬 幹雄、有村 隆志、植山 利博、塩井川 幸生、蔵原 勇		
役割分担	班 長 (池田 綱雄) 副班長 (厚地 覺) 記録係 (有村 隆志)		
テーマ及び具体的な内容	商工業の振興、人口減少問題、観光政策等について		

意見交換での主な意見等

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆鹿児島県一元気な霧島市と言われてきたが、始良市が発展・活発化により注目されており、霧島市の人口減少が気になる。人口増対策と始良市に元気都市を奪われない活性化策はどうか。
◇地方創生の中でも人口増対策は大きなテーマとなっており、霧島市では移住定住対策を先駆けて取り組んできている。人口増には、少子化対策として子どもを産み育てやすい環境づくり、高校・大学生が市外に就職しない対策などの総合的な対策が必要である。高校・大学生が市外に就職しない対策として、中・高校生に市内の企業の紹介や、市内の企業に就職したら奨学金の返済を免除する奨学金制度も本年から取り組んでいる。また、農業、商業、水産業の地場産業の活性化のために霧島市中小零細企業振興条例を作った。地元の企業の活性化へ色々な施策が始められようとしている。

今後は、地域間競争になるので他市にない施策を議会も検討したい。

◆日当山・妙見温泉を霧島の特色を生かし、湯布院や黒川温泉のような魅力ある観光地にして欲しい。夢で終わらないよう、皆様の力を借りたい。

◇洗心閣跡地に西郷どんの宿を復元するための予算を計上した。庭園を残し12月完成予定で、足湯はその後設置予定である。目玉は、日当山の活性化として特産品の販売所を市が計画している。バス停の名前も変え、日当山案内ガイドも養成している。

※各議員が観光へのそれぞれの思いを語る。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆雇用状況が改善され最低賃金の上昇もあり、中小企業の人手不足の環境は大手に比べ改善していない。市として雇用対策はどうか。

◇奨学金対策もその一つで、あらゆる職業や雇用条件でも使える。中学生に地元企業の良さや就職を学習してもらい認識を変える取り組みを始めた。

大型店舗の進出で市内企業の雇用が流動化し、中小事業者はますます条件的に厳しい状況になるので、今後中小零細企業の振興対策として雇用対策を取るべきと考える。

◆浸水被害の場所は決まっているので改善できないか。コアよかの周辺で浸水し通行止めになる。

◇排水対策ができていない地域に店が張り付いている。例えば、見次周辺も街路事業で整備した。区画整理事業が行われていないので道路は裏に入ると狭く、排水路が整備されておらず排水ができていない。この区画整理事業には莫大な事業費がかかる。また、事業では減歩もあり住民の合意形成が不可欠である。

◆広い霧島市の紹介に車で回る時に、目的地（温泉・神社・お寺・西郷さん）が一目でわかり、統一感のある看板で、霧島を良い観光地として印象付けることができないか。

◇国立公園満喫プロジェクトで、4か国語対応の表記や海外から来た人にも解りやすい看板ができてくると思う。今年度も看板を予算化している。

◆空き家対策について

◇空き家バンク制度では不動産会社と連携して移住定住の方を探している。法の改正等で空き家の解消を目指している。